

科目ナンバリング		U-LAS51 10030 SB48							
授業科目名 <英訳>		アクティブリスニング（全・英）-E3 Active Listening (All Faculties, English)-E3				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 吉田 朱美	
群	キャリア形成科目群			分野(分類)	国際コミュニケーション		使用言語	日本語及び英語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	水2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
本科目は、英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とする。リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせる。リスニング能力の向上により、主体的に英語での講義に参加できることを目指す。主要な教材としてはTOEFLテストに準拠した教科書を使用し、学術的な語彙を身に着けつつ、論理的に構築された英文を音声として聴取しつつ直ちに意味把握・批判的分析をおこなえるよう、ノートテキングや聴き取り・穴埋め練習、口頭でのオーバーラッピング等の訓練を積む。									
【到達目標】									
本科目は、以下の3つを到達目標として定める。この科目が修了する時点で受講生が以下の能力を身につけることを目標とする。 (1)英語の音声的特徴（母音、子音、リズム、イントネーション、連結、脱落、同化など）を分析的に理解し、その知識をリスニングの際に利用することができる。 (2)文脈や背景知識、発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり、自身の理解を修正したりする方法を身につけ、その方法をリスニングの際に利用することができる。 (3) 英語の概論的講義（10-20 分程度）を聞いて、その概要や要点を的確に把握することができる。									
【授業計画と内容】									
1．リンキング、リエゾン、音韻変化 The Irish Potato Famine 2. Music and History 3. Kurt Vonnegut 4. Living Organism 5. Listening 6. Sample Set 7. 中間テスト History of Modern Art 8. Critical Thinking 9. Acid Rain									
						アクティブリスニング（全・英）-E3(2)へ続く↓↓↓			

アクティブリスニング (全・英)・E3(2)

10. Media Effects and Transmission Technologies

11. Health

12. Welcome Speech

13. Light and Matter

14. Anthropology

15. 期末テスト

16. 学習のまとめ

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

成績評価の30%は、到達目標(3)について期末試験を行うことで定めること。30%は中間試験、残り40%は授業貢献および予習における努力・成果により定める。

【教科書】

鶴岡公幸、Gary Malmgren、Timothy J. Phelan 『Get Ready for the TOEFL iBT#174: Listening & Reading/「TOEFL iBT#174対策・リーディング&リスニング：教養英語演習」』（松柏社、2012年）ISBN:978-4-88198-658-5

【授業外学修（予習・復習）等】

指定された範囲の音声教材をあらかじめ聴取して授業に臨む。授業後、埋められなかった虫食い部分を確実に聞き取り、正しい綴りで書き取れるように反復学習し、語彙知識についても定着を図る。

【その他（オフィスアワー等）】

初回授業の場において連絡用メールアドレスをお知らせします。